

アジア・ビジネス創出プラットフォーム、 トップ・ミーティング開催

アジア・日本におけるビジネスの創出、経済の活性化をめざし、関経連とアジア7カ国の経済団体が設立した「アジア・ビジネス創出プラットフォーム(ABCプラットフォーム)」。

設立が合意された2019年4月の大阪での第1回全体会議以降、各部会を中心に活動を進めてきた。今秋、シンガポールでの開催を予定していた第2回全体会議は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し来年に延期したが、9月4日オンラインにて「トップ・ミーティング」を開催した。

ABCプラットフォームのこれまでの活動やトップ・ミーティングの概要を紹介する。

ABCプラットフォーム アジアとともにさらなる経済発展を

ABCプラットフォームでは、アジア各国とともにさらなる経済発展を実現すべく、アジア7カ国(インドネシア・マレーシア・ミャンマー・フィリピン・シンガポール・タイ・ベトナム)の経済団体と協力して、各国の企業・団体間における人材・技術・サービス等の連携を促進し、ビジネス創出に取り組んでいる。

その活動は、各経済団体のトップが集まり、活動方針の決定や取り組みの成果・課題の共有などを行う「全体会議」(年1回開催)と、アジア各国と日本双方の関心分野ごとに設置された「テーマ別部会」にて進められている。設立当初、「人材育成・活用」「医療・介護」「中堅・中小企業支援」「農業」「観光」の5分野でスタートした部会には、その後「環境」「スタートアップ」の2分野が追加され、現在は7部会が活動している。部会にはプロジェクトマネージャー(PM)を置き、各企業・団体に担当していただいている。部会活動はPMを中心に、アジア・日本双方からの参画企業・団体にて推進されている。

■テーマ別部会の活動状況

7部会は、それぞれが工夫しながら活動を展開している。主な取り組みの進捗状況は以下のとおり。

人材育成・活用部会：アジア7カ国の大学生・日本で学ぶ留学生と関西の企業とのマッチングのための就職活動イベントを開催し、採用に結びつけた。

医療・介護部会：介護人材不足が日本の深刻な課題となるなか、アジア各国から介護人材の受け入れを拡大できる環境を整えるため、部会に参画する企業同士の協業を進めている。

中堅・中小企業支援部会：日本企業のアジア進出に向けたセミナーを開催。

農業部会：部会に参画している日本企業が持つ農業技術をアジア各国に紹介。

観光部会：マレーシア商工会議所からの提案により、ハラルビジネスセミナーを開催するとともに、マレーシア企業と日本企業によるムスリム旅行者向けウェブサイト「Salam Kansai」の立ち上げを支援した。

環境部会：タイにおける未利用廃棄物のリサイクル事業において、タイ企業と日本企業との協業が進むなどの成果が出てきている。

スタートアップ部会：国内外のスタートアップ企業と大企業との取引を促す取り組みを実施。



マレーシア商工会議所と共催したハラルビジネスセミナー

■バンコク・デスクの設置、 ウェブサイトのリニューアル

アジア各国の経済団体や企業との連携を強化し、ビジネス創出を加速するために、本年2月、タイ・バンコクにABCプラットフォームのデスクを立ち上げた。プラットフォーム構成団体の一つであるタイ工業連盟に協力いただき、同団体のオフィス内に「バンコク・デスク」として設置し、当会職員が常駐している。

また、4月にはウェブサイトを全面リニューアル。各部会やプラットフォーム構成団体の活動状況をリアルタイムで発信しているほか、国内外の企業・団体の技術・商材情報を掲載し、ウェブサイトを通じ

たビジネスマッチングを推進している。

ウェブサイトURL <https://www.abc-pf.org/>

トップ・ミーティングの開催

本年9月に第2回全体会議をシンガポールにて開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により来年に延期した。それに代わり、次回の全体会議への橋渡しとして、各経済団体のトップによる「トップ・ミーティング」を9月4日にオンラインにて開催した。



スクリーン上で一堂に会した各経済団体の出席者

開会にあたり松本正義 関経連会長は、当会の新型コロナウイルス医療体制支援の取り組みを紹介するとともに、「世界中が結束してこの危機を乗り越えていく必要がある。国境を超えた経済団体のネットワークであるABCプラットフォームが企業をサポートする役割は大きく、期待はさらに高まっていく」と挨拶。続いてABCプラットフォームを所管するアジアビジネス専門委員会の田中恵次専門委員長が、テーマ別部会の取り組み、バンコク・デスクの設置、ウェブサイトのリニューアルなど昨年4月の設立から直近までの活動状況を報告した。各経済団体のトップによる意見交換では、各国における新型コロナウイルスの状況・対応について情報共有したほか、ABCプラットフォームへの期待として、①新型コロナウイルスの克服・経済成長に向けた参加国間の連携強化、②ウェブセミナー、仮想展示会、プラットフォームのウェブサイト等を通じたビジネスマッチングの活性化、③人材育成、日本の農業技術活用、ハラルビジネス、スタートアップ支援をはじめとしたテーマ別部会の取り組みの推進、などがあげられた。

会合では、新型コロナウイルスの早期収束と経済の早期回復、各国間交流の活性化を祈念して、松本会長とテーマ別部会PM代表によるダルマの目入れ式を実施したほか、各国の観光PR動画の放映も行った。

松下正幸副会長は「各分野で少しずつ具体的な成果が出ていることを頼もしく思うとともに感謝申

し上げる。厳しい状況が続くが、なんとか事業を継続し、来年シンガポールにて開催予定の全体会議で、本日目入れしたダルマに二つめの目を入れて成功を喜び合いたい。仏教の教えでは、努力と精進を重ねると三つめの目が額の中央に開くといわれていると聞く。三つめの目を入れられるような成功を皆さまとともに努力して成し遂げたい」とプラットフォームへの思いを述べた。

松本会長は、「厳しいコロナ禍においてもメンバー間の絆がさらに強く、深くなっていることがわかった。各国の発表から私が認識した重要なポイントとして次の4点をあげたい。①双方向のコミュニケーション(Two-way communication)を通じた相互の発展、②活動の幅、深さの発展と加速、③メンバー国間の絆を深めるための活動の活性化、④たとえ小さくても一つひとつのプログラムを積み重ね、手と手を取り合った成果の創出(Let's deliver the results)。シンガポールで来年お会いできることを楽しみにしている」と議論を取りまとめた。

会合は、次回全体会議の開催団体であるシンガポール製造業連盟からの閉会の挨拶で締めくくられた。



トップ・ミーティング後の日本側関係者の記念撮影

より多くのビジネス創出に向け、活動を加速

今回のトップ・ミーティングでの意見をふまえ、今後のABCプラットフォームの取り組みとしては、より多くのビジネス創出をめざしテーマ別部会の活動を加速させていく。いまだ実際の往来がままならない状況ではあるものの、ウェブサイトを通じたビジネスマッチングの推進や、オンライン会議ツールを積極的に活用して海外にいる関係者とのコミュニケーションをはかり、共催でウェブセミナーを開催するなどできることから進めていく。国内向けの取り組みとしては、関西以外の日本企業・団体とのコラボレーションを進めるべく、各地域の経済連合会との連携にも力を入れていく。さらに、今回延期したシンガポールでの第2回全体会議の来年の開催に向け、シンガポール製造業連盟とは特に綿密に連携し、準備を進めていく。(国際部 中西康真)